

活気あふれる農業推進機構（山形県舟形町）

事例の概要

安心・安全・良質な農産物を提供するために、**生産から加工・販売まで一貫した体制を確立**し、潤いと活気ある農村地域を形成するために「**活気あふれる農業推進機構**」を**立**立して様々な事業を実践している。

事例の内容

事業内容

推進指導監賃金、チャレンジ農業実践塾運営委託料

総事業費

平成22年度 1.2百万円
（うち過疎債 1百万円）

農業経営の一層の向上を目指す農業者が**自発的に参画**

事業の効果

高付加価値農業を実践する「**チャレンジ農業実践塾**」を立ち上げ、**町に合う作物を戦略的に選定**し、栽培と加工品を含めた**新しい特産物開発**を始めた。

現在、塾生16人「おかひじき」「やまがた地鶏」「行者ニンニク」「つくねいも」を栽培し、所得の向上をめざして生産拡大と新たな販売・消費ルート開拓に取り組んでいる。

ポイント

- 町の状況
 - ・町民の半数以上が農業従事者（水稻に依存）
 - ・農家1戸あたりの販売額300万円未満の農家が8割

チャレンジ農業実践塾を立ち上げ

生産から加工・販売まで一貫した体制を確立、新しい特産物開発を始める等により、農業所得500万円以上が目標。

従来栽培実績がなかった高付加価値の農作物が、着実に定着してきている。



○塾での活動内容

- ・県農業技術職員OBが生産技術等について指導
- ・試作（丹波の黒豆）
- ・視察（いちご、やまぶどう）
- ・栽培研修会へ参加 等